

平成27年度 岐阜工業高等専門学校シラバス					
教科目名	総合国語	担当教員	宮口典之		
学年学科	3年 全学科	通年	必修	2単位	
学習・教育目標	(A-1) 20% (C-1) 80%				
<b>授業の目標と期待される効果：</b>  第2学年までの学習成果をふまえ、さらに国語の学習を発展させる。具体的には、以下の能力の育成を目標とする。  ① 漢字や語句の知識を増やす。 ② 文脈の中から語句の意味を読解する。 ③ 論理の展開を理解する。 ④ 要旨を正確に把握し、文章を要約する。 ⑤ 文章の背景となる社会や文化について関心を深める。 ⑥ 適切な日本語で自分自身の考えを表現する。		<b>成績評価の方法：</b> 前期：中間試験 100点＋期末試験 100点＋課題・小テスト 100点 後期：中間試験 100点＋期末試験 100点＋課題・小テスト 100点 学年：前・後期の重みを等しくして合計した上で、得点率(%)で成績評価を行う。  <b>達成度評価の基準：</b>  教科書レベルでの授業内容の理解について、以下の項目に関する試験や課題を課し、それぞれに対して6割以上の正答レベルまで達していること。  ① 漢字や語句の知識が身についたか。 ② 論理の展開を理解し、文章の内容を要約できたか。 ③ 日本の社会や文化についての関心は深まったか。 ④ 適切な日本語で表現をすることができたか。			
<b>授業の進め方とアドバイス：</b>  授業は、教科書と板書を中心に行うので、各自学習ノートを充実させること。 授業中に出される課題には真剣に取り組むこと。 参考となる資料については、授業中に適宜紹介するので、各自で参照すること。					
<b>教科書および参考書：</b>  新編現代文B (三角洋一他・東京書籍 2013年) 入試頻出漢字＋現代文重要語彙TOP2500 (谷本文男・いっずな書店 2010年) 他に辞書等					
<b>授業の概要と予定：前期</b>					<b>ALのレベル</b>
第1回：授業ガイダンス、評論(1)					
第2回：評論(2)					
第3回：評論(3)					C
第4回：評論(4)					
第5回：小説(1)					
第6回：小説(2)					C
第7回：小説(3)					
第8回：中間試験					
第9回：随想(1)					
第10回：随想(2)					
第11回：随想(3)					C
第12回：随想(4)					
第13回：詩歌(1)					
第14回：詩歌(2)					C
第15回：詩歌(3)					
<b>期末試験</b>					
第16回：フォローアップ(期末試験の解答の解説など)					

授業の概要と予定：後期	ALのレベル
第17回：評論（5）	
第18回：評論（6）	
第19回：評論（7）	C
第20回：評論（8）	
第21回：評論（9）	
第22回：小説（4）	C
第23回：小説（5）	
第24回：中間試験	
第25回：小説（6）	
第26回：小説（7）	
第27回：評論（10）	C
第28回：評論（11）	
第29回：評論（12）	
第30回：評論（13）	C
第31回：評論（14）	
期末試験	
第32回：フォローアップ（期末試験解答解説など）	

評価（ルーブリック）

達成度 評価項目	理想的な到達 レベルの目安 （優）	標準的な到達 レベルの目安 （良）	未到達 レベルの目安 （不可）
①	漢字・語句に関する問題をほぼ正確(8割以上)に解くことができる。	漢字・語句に関する問題をほぼ正確(6割以上)に解くことができる。	漢字・語句に関する問題を解くことができない。
②	論理展開の理解・要約に関する問題をほぼ正確(8割以上)に解くことができる。	論理展開の理解・要約に関する問題をほぼ正確(6割以上)に解くことができる。	論理展開の理解・要約に関する問題を解くことができない。
③	日本の社会や文化に関する問題をほぼ正確(8割以上)に解くことができる。	日本の社会や文化に関する問題をほぼ正確(6割以上)に解くことができる。	日本の社会や文化に関する問題を解くことができない。
④	適切な日本語による表現をほぼ正確(8割以上)に行なうことができる。	適切な日本語による表現をほぼ正確(6割以上)に行なうことができる。	適切な日本語による表現をほぼ正確に行なうことができない。